

令和4年7月
大竹市議会臨時会（第4回）議事日程

令和4年7月14日10時開会

日 程	議案番号	件 名	付 記
第 1		会議録署名議員の指名	
第 2		会期決定について	
第 3		議席の一部変更について	
第 4		議席の指定について	
第 5	議案第34号	令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）	

○会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期決定について
- 日程第 3 議席の一部変更について
- 日程第 4 議席の指定について
- 日程第 5 議案第34号（説明・付託）
- 追加日程第 1 議案第34号（報告・討論・表決）

○出席議員（16人）

1番 賀屋幸治	2番 末広天佑
3番 藤川和弘	4番 原田孝徳
5番 小中真樹雄	6番 中川智之
7番 小田上尚典	8番 北地範久
9番 西村一啓	10番 和田芳弘
11番 網谷芳孝	12番 児玉朋也
13番 山崎年一	14番 日城 究
15番 細川雅子	16番 寺岡公章

○欠席議員（なし）

○説明のため出席した者

市 長	入山欣郎
副 市 長	太田勲男
教 育 長	小西啓二
総 務 部 長	佐伯和規
市 民 生 活 部 長	中村一誠
健康福祉部長兼福祉事務所長	三原尚美
建 設 部 長	山本茂広
建設部地籍調査担当部長	小田健治
上 下 水 道 局 長	古賀正則
消 防 長	小田明博

総務課長併任選挙管理委員会事務局長
企 画 財 政 課 長

柿 本 剛
三 井 佳 和

○出席した事務局職員

議 会 事 務 局 長
議 事 係 長

三 上 健
北 修 治

会期決定について

令和4年7月大竹市議会臨時会（第4回）の会期を、次のとおり定める。

令和4年7月14日提出

大竹市議会議長 賀屋幸治

自 令和4年7月14日

1日間

至 令和4年7月14日

会期日程表

期 日		会 議		付 記
月 日	曜	本会議	委 員 会	
7. 14	木	本会議		・開会 ・会期決定 ・一般議案上程（付託）
			総務文教委員会	付託案件審査
				・一般議案委員長報告（表決） ・閉会

10時00分 開議

○議長（賀屋幸治） おはようございます。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

日程に入る前に、お知らせがございます。

7月7日の議会運営委員会での申し合わせにより、本臨時会から、登壇して発言することとしておりますので、御承知おきください。

去る6月19日に行われた大竹市議会議員補欠選挙で、末広天佑議員が当選されました。

この際、議事の運営上、仮議席を指定いたします。

末広天佑議員の仮議席は、ただいま御着席の議席に指定をいたします。

それでは、末広天佑議員を御紹介いたします。

16番、末広天佑議員。

[16番 末広天佑議員 登壇]

○16番（末広天佑） おはようございます。

先月行われた補欠選挙で初当選させていただいた、一人会派スマイル会の、末広天佑と申します。

今回の選挙は、長く議員を務められていた山本議員が亡くなられて行われた補欠選挙ではございます。改めて、山本議員の御冥福をお祈り申し上げます。

1年だけですが、山本議員がされていた仕事を引き継いで務めさせていただく形となりました。ただ、まだまだここにいらっしゃる先輩の方々に比べると人生経験も浅く、知識もない状態で、とても代わりを務められるような立場ではございません。その中で自分に何ができるかを考えながら、市民の皆様いただいた支持に応えられるよう、頑張っていこうと思います。しっかり汗をかいて、市民の皆様のために邁進していこうと思います。

その際には、先輩方の御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。これからよろしく申し上げます。ありがとうございました。

[拍手]

○議長（賀屋幸治） この際、御報告をいたします。

常任委員及び特別委員の選任につきまして、委員会条例第7条第1項の規定により、議長において、6月21日に末広天佑議員を総務文教委員及び基地周辺対策特別委員に指名いたしましたので、御報告をいたします。

臨時会開会に当たり、市長から挨拶がございます。

市長。

[市長 入山欣郎 登壇]

○市長（入山欣郎） 大竹市議会臨時会の開会に当たりまして、御挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、御多忙の中御出席を賜り、誠にありがとうございます。

初めに、私事で恐縮でございますが、御承知のとおり、選挙期間中から先日までの約1カ月間、病気療養のため不在としておりました。この間、大変な御心配と御迷惑をおかけいたしましたこと、この場をお借りいたしまして深くおわびを申し上げます。

6月の市長選挙では無投票でございましたが、引き続き市政の重責を担わせていただく

こととなります。今、改めまして身の引き締まる思いでございます。気持ちを新たに、よりよいまちづくりのため懸命に取り組んでまいりますので、議員の皆様方におかれましては、引き続き御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

また、市議会議員補欠選挙では、末広議員が初当選をされました。お喜びを申し上げますとともに、御自身の経験を生かされ、御活躍されますことを御期待申し上げます。

さて、このたびの臨時会で御提案いたします議案でございますが、令和4年度大竹市一般会計補正予算についてでございます。後ほど詳しく説明をさせていただきますが、議員の皆様におかれましては、どうか慎重に御審議の上、議決を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上、開会に当たりましての御挨拶といたします。よろしくお願い申し上げます。

○議長（賀屋幸治） これより日程に入ります。

~~~~~○~~~~~

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（賀屋幸治） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において、11番、児玉朋也議員、12番、山崎年一議員を指名いたします。

~~~~~○~~~~~

日程第2 会期決定について

○議長（賀屋幸治） 日程第2、会期決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、本日1日限りといたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 御異議なしと認めます。

よって、会期は1日間と決定いたしました。

~~~~~○~~~~~

#### 日程第3 議席の一部変更について

○議長（賀屋幸治） 日程第3、議席の一部変更についてを議題といたします。

議席2番、藤川和弘議員を3番に、議席3番、原田孝徳議員を4番に、議席4番、小中真樹雄議員を5番に、議席5番、中川智之議員を6番に、議席6番、小田上尚典議員を7番に、議席7番、北地範久議員を8番に、議席8番、西村一啓議員を9番に、議席9番、和田芳弘議員を10番に、議席10番、網谷芳孝議員を11番に、議席11番、児玉朋也議員を12番に、議席12番、山崎年一議員を13番に、議席13番、日城究議員を14番に、議席14番、細川雅子議員を15番に、議席15番、寺岡公章議員を16番に、それぞれ変更したいと思います。

お諮りいたします。

ただいま申し上げたとおり、議席の一部を変更することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定されました。

~~~~~○~~~~~

日程第4 議席の指定について

○議長（賀屋幸治） 日程第4、議席の指定についてを議題といたします。

今回、御当選された末広天佑議員の議席は、会議規則第4条第2項の規定により、議長において、2番に指定いたします。

次の休憩中、議席の移動を行います。

議事の都合により、暫時休憩いたします。なお、再開は10時20分を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

~~~~~○~~~~~

10時08分 休憩

10時20分 再開

~~~~~○~~~~~

○議長（賀屋幸治） それでは、休憩前に引き続き、会議を開きます。

~~~~~○~~~~~

#### 日程第5 議案第34号 令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）

○議長（賀屋幸治） 日程第5、議案第34号令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

提案者に提案理由の説明を求めます。

副市長。

〔副市長 太田勲男 登壇〕

○副市長（太田勲男） 議案第34号令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）につきまして御説明申し上げます。

このたびの補正予算は、コロナ禍において原油価格や物価高騰の影響を受けている地域経済や市民生活を支援するための事業を計上するものでございます。

金額といたしましては、歳入歳出にそれぞれ3億868万3,000円を追加し、予算総額を156億263万6,000円にするものでございます。

内容を順に説明させていただきますが、説明の都合により、7ページの歳出から御説明いたします。

第7款商工費は、2億8,235万5,000円を増額するものでございます。

内容といたしましては、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響により落ち込んだ地域消費を喚起することを目的として、市内の店舗等で利用できる、市民1人当たり1万円分のクーポン券を発行する費用として2億7,860万5,000円、また、商工会議所と飲食事業者が連携して行う事業に対する補助金として、375万円を計上するものでございます。

第10款教育費は、2,632万8,000円を増額するものでございます。

内容といたしましては、大竹市立学校に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進するため、令和4年10月以降の学校給食費の半額支援を実施するための費用を計上するものでございます。

以上が歳出予算の概要でございます。

続きまして、6ページの歳入予算につきまして御説明いたします。

第14款国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を、2億1,560万7,000円計上するものでございます。

第18款繰入金は、学校給食費支援事業の財源として、地方創生事業基金繰入金を2,632万8,000円計上するものでございます。

第19款繰越金は、前年度繰越金を6,674万8,000円計上するものでございます。

以上で、議案第34号令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）の提案説明を終わります。よろしく御審議賜り、御承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（賀屋幸治） これより、質疑に入ります。

質疑の通告は受けておりませんが、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 質疑なしと認めます。

これをもって、質疑を終結いたします。

本件は、総務文教委員会に付託いたします。

この際、御通知いたします。

次の休憩中、総務文教委員会を第1委員会室で開会する旨、委員長から通知を受けております。委員各位にはお含みの上、御参集をお願いいたします。

議事の都合により、暫時休憩いたします。

~~~~~○~~~~~

10時24分 休憩

13時30分 再開

~~~~~○~~~~~

○議長（賀屋幸治） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

お諮りいたします。

この際、議案第34号を日程に追加し、直ちに議題といたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

~~~~~○~~~~~

追加日程第1 議案第34号 令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）

○議長（賀屋幸治） 追加日程第1、令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。

総務文教委員長、児玉朋也議員。

総務文教委員会議案審査報告書

令和4年7月14日、第4回臨時会において本委員会に付託の議案は、審査の結果、下記

のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

| 議案番号 | 件名 | 審査の結果 |
|--------|-----------------------|-------|
| 議案第34号 | 令和4年度大竹市一般会計補正予算(第4号) | 原案可決 |

令和4年7月14日

大竹市議会議長 賀屋 幸治 様

総務文教委員長 児玉 朋也

[総務文教委員長 児玉朋也 登壇]

○総務文教委員長(児玉朋也) それでは、本日の本会議におきまして、総務文教委員会に御付託をいただきました議案1件につきまして、先ほどの休憩中に委員会を開催し、審査を行いましたので、委員会での審査経過の概要並びに結果について、御報告申し上げます。

議案第34号令和4年度大竹市一般会計補正予算(第4号)でございますが、本件では、まず、「7款商工費の、商工振興事業で、クーポン券を発行すると説明があったが、過去の利用率と利用可能な事業者数について伺う。また、配付対象者の基準と人数について伺う」との質疑に対しまして、「利用率については、1回目が94.5%、2回目が95.9%である。事業者数については、1回目が281事業者、2回目が290事業者である。

配付対象者については、令和4年7月末現在で大竹市に住所を有する方に配付を考えている。人数については、7月1日現在で住民基本台帳人口が2万6,191人であるため、同程度の人数を見込んでいる」との答弁がございました。

次に、「10款教育費の、学校給食費支援事業で、学校給食費の半額支援を実施する根拠と支援の期限について伺う」との質疑に対しまして、「今回の半額支援の具体的根拠はない。値上げ分の支援や主食費の支援であるとか、牛乳費の支援などを検討した結果、物価高騰及び子育て支援策として、学校給食費について、県内市町の中でもトップクラスに手厚い、子育て世帯への経済的負担の軽減策を行いたいと考えて、半額支援とした。期間については、10月から3月末までの予算を計上している」との答弁がございました。

他にも質疑がございましたが、本席では省略させていただきます。

質疑を終結し、討論に入りましたが、討論はなく、採決の結果、本件は原案のとおり可決すべきものと決しております。

以上で、総務文教委員会に御付託いただきました議案1件の審査報告を終わります。

○議長(賀屋幸治) ただいまの委員長報告に対し、これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(賀屋幸治) 質疑なしと認めます。

これをもって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論の通告を受けておりますので、発言を許可します。

15番、細川雅子議員。

○15番（細川雅子） 15番です。

私は、議案第34号令和4年度大竹市一般会計補正予算に、反対の立場で討論させていただきます。

初めに、市長、5期目の当選、おめでとうございます。これから4年間の本市のかじ取りをしっかりとお願いしたいと思います。

また、このたびは公務をしばらくお休みされましたが、元気に復帰され、一安心しているところでございます。市長の仕事は、体力的にも精神的にも激務だと思います。これから暑さも本番ですので、どうぞ御自愛ください。

さて、このたびの一般会計補正予算のうち、私は、学校給食費支援事業に反対でございます。

給食費の補助については、平成22年に市議会の安心安全対策特別委員会で時間をかけて議論し、給食費の無償化を市に提案しております。当時の議会に在籍していた者の務めとして、そのときのことを少し紹介させてください。

市議会としては、子育て家庭の支援に力を入れることで他市との差別化を図り、定住促進につなげたいとの趣旨の事業提案でした。ですが、この議会からの提案は、執行部の御理解と賛同をいただくことができず、残念なことに現在まで実現しておりません。

そのときの執行部のお考えでは、第1に財源の問題です。毎年の財源負担が1億円程度かかることになる事業です。そして、一旦補助を始めたら、簡単にやめるわけにいかないといった種類の事業です。ほぼ毎年1億円かかる事業の財源の確保をどうするのか。

第2に、1億円の使い道として、学校教育予算であれば学力の向上にこそ使いたいというものでした。第3に、定住促進を狙っているのであれば、ほかの事業との比較検討も必要である。ほかにも幾つか指摘された事項はありましたが、長くなりますので3つにまとめました。

私は、給食費の無償化を提案した側でございます。そういう意味では、このたびの市長の提案に反対をすることは、大変矛盾をした態度だと思っております。しかし、平成22年当時に執行部からいただいた疑問を、そのままお返しします。

第1に、財源をどうするかです。財源についての考え方は、当時と変わっていないといった委員会での御答弁をいただきました。考え方が変わらないのにどうして事業を始められるのかといった疑問が湧いてまいります。

御承知のように、一旦始めたら簡単にやめることができない事業です。財源については、地方創生事業基金の積み上げがあるので、当面は大丈夫との御答弁でした。ですが、この基金、財政担当と職員の皆さんが大変な御苦勞をされて積み上げてきた基金だと、私どもも承知しております。学校給食費の補助に積み上げたとの認識は、今までございませんでした。

次に、再編交付金についてです。現在は空母艦載機部隊配備特別交付金ということでしようが、こちらのほうも、御承知のように期間限定です。長期間にわたった経常的な経費

として期待するのには、無理があるのではないのでしょうか。

それだけでなくこの交付金、あたたかあたた基金とか、子供の医療費補助として期待しているにこここども基金、学校教育の充実のための教育環境充実基金など、これらのソフト事業を続けていくために積み上げていきたい交付金です。

このような財政状況の中で、将来の財源保障がしっかりしていないのに事業をスタートする、これは見切り発車というのではないのでしょうか。とても心配しています。今後ずっと続く財政負担の手だてについて、どのようなお考えをお持ちなのか疑問が残りました。

次に、1億円あれば学校教育の充実のために、さまざまな事業が可能だと思います。例えば、英語教育におけるALTの教員の増員、図書室の充実、給食関連にあえて言及すれば、栄養教諭の増員など、さまざまなことに使えます。

今年度の当初予算の審議の折にも、議会からさまざまな提案がございましたが、財源の確保が課題だとおの答弁をいただいたところです。このたびの予算は、財源としたら2,600万円ですが、これだけあれば何人もの職員を、市費で雇用できるのではないのでしょうか。

第3に、保護者の経済負担の軽減のための事業ですが、ほかにどのような案があって、なぜ給食費の半額補助に決まったのか、経緯が分かりません。御答弁の中では、半額という幅についてはしっかりした根拠はない。だが、他市より手厚い補助であるといった御答弁でした。

給食費の無償化をしている自治体も近隣にある中で、他市より手厚いとはなかなか受け止めにくいです。物価の高騰における子育て世帯の経済支援として、給食費の半額補助が最適だったかどうか、この判断の材料に不足しているように感じます。

以上の点において、私の疑問は解消されるどころか、逆に深まってまいりました。給食費の補助については、来年度までに方向性を決めたいとのことでした。議会でも議論の場が用意されることと思います。今後の議論の幅を広げるためにも、このたびの議案に対しては、あえて反対との態度を表明させていただきます。

以上です。

○議長（賀屋幸治） 続きまして、発言通告が出ておりますので、発言を許します。

7番、小田上尚典議員。

○7番（小田上尚典） 議案第34号令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）について、賛成の立場で討論します。

特に反対討論のありました学校給食費については、今年度中、半額の補助に加えて、来年度においては無償化に向けた強い意思を感じました。なおかつ、義務教育だけにとどまらず、保育所の副食費に関しても補助の検討を進めていくということで、今回の提案理由にもありました子育て支援という点から見れば、まず、第一歩を踏み出せたという点で、歓迎すべきものだろうと思っています。

そして、平成22年度に、安心安全対策特別委員会から提案された給食費無償化などについても、当時の議員も、定住促進という観点ではありますが、子育て支援の要素も入っていたのだろうと思い、当時の議会に先見性があるなと感じています。

学校給食費の無償化、今では多くの自治体に取り組んでいます。時間はかなり経過して

いますが、この当時の議決を重く受け止めている旨の答弁も、今回の委員会審査の中でのいただきました。

ただ、平成22年当時の答弁において出された課題は今も健在であり、特に財源の確保については、執行部のみならず議員もしっかりと検証していかなければならないだろうと思います。

給食費の補助や無償化など、恒久的な制度として確立するためには、課題もあるように感じます。物価高騰のあおりを受ける中ですが、郷土愛を育むことができる安定的な給食を提供していくためのさらなる努力をお願いして、賛成討論といたします。

○議長（賀屋幸治） 他に発言の通告は受けておりませんが、討論はありますか。

日域議員。

○14番（日域 究） すみません、通告しておりませんが、反対討論があるとは思いませんでしたので、なかなか。

議案第34号令和4年度大竹市一般会計補正予算に、私は基本的に賛成の討論なんですけれども、さっきの委員会を傍聴してまして、私が思った以上に細かな、中身のある審議をされたと思います。ただ、私が感じたことがちょっとあって、それを言いたくて発言させていただきました。

今、細川議員の発言の中にもありましたけど、私も平成22年のことを詳細に覚えているわけじゃありませんけれども、今、細川議員の発言の中にもありましたよね。教育の充実っていうかな。

今、日本中が物すごく優しくなっているんですね。困っている人に対して物すごく手厚く、金銭支援、今回の参議院選挙を見ても、皆さん、本当に同じようにお金を配るか、もしくは税金を下げようと、そういうことの競争でしたけど、それはそれで可能であれば結構だと思います。

ただ、痛み止めの注射を打っても、病気は治らないんですよ。だから子供たち、貧困家庭もいるかもしれない、いろんなことがありますけれども、結局人間が稼ぐ力をつける、会社が稼ぐ力をつける。そういうスキルアップ、リスキリングなんて最近言いますけれども、それが要るわけですよ。

そういう意味では学校についても、さっき保育所も出てきましたけど、やっぱり一番大事なのは義務教育ですよ。社会を支えているのは教育であって、これはもう絶対避けることのできない一番の根幹ですから。最近で言うと、タブレットを、頑張って大金を投じて配りましたよね。一般質問させてもらいましたけど、これだけお金が、あるんであればっていう言い方はあまり適切ではないですけれども、例えばタブレットは配ったけど、そこで個人個人が使うソフトについては、あれはワークブックっていうのかな、だからあれは個人負担ですっていう考え方があるようなんですね。これは大竹市だけにあるのか、日本中にあるのか知りません。でも、せっかくあんだだけGIGAスクールと称して大事をやったわけですから、それが子供たちの学力向上にストレートに結びつくように、ぜひそっちにも、今後は目をかけていただきたい。

大竹市に行ったらお金がなくても学校に行けるんよって言うよりか、大竹市の学校に行

ったら子供の成績上がるんよって。そのほうがよっぽど価値があるじゃないですか。よっぽどとは言いません、両方とも大事です。だからぜひ教育の中身の充実にもお金をかけてほしいなということをお願いして、私は賛成の討論といたします。

以上です。

○議長（賀屋幸治） 他に討論はありませんか。

4番、原田議員。

○4番（原田孝徳） 私は、意見を付しての賛成討論とさせていただきたいんですけども、今の細川議員、それから、小田上議員、それから、日域議員の討論を聞いておまして、それぞれによく分かる討論だったと思うんですけども、全体としてまだまだ大竹市の場合は、いろんな行政サービスというか、住民サービスというか、そういうものがこの給食費だけの問題ではなくて、まだほかにも他市町に、まだまだ負けているところがあるように思います。

見切り発車という言葉があったと思うんですけども、本当にそうであれば、やはり給食費だけではなくて、ほかの部分でももっとサービスを充実するということにおいては、しっかりと計画を立てて、バランス、どこかでそういう話も聞きましたけれども、そういうバランスもあると思いますので、そういうものを見極めた上でこういう事業というか、給食費だけで言いますと半額化するにしても、そういう、ほかにも行政サービス、市民サービス、遅れている部分がありますから、ちょっと今日の委員会を傍聴しましたけれども、なかなかその説明が不十分だったような気がしますし、これを機にほかのサービスも見直して、財源とかの問題もあるかと思うんですけども、そういうところをもう一回しっかりと全体を見て、こういう問題を提案してもらいたいなという思いがあります。

ただ、差し向きこういう、今年度中の例えば半額ということであれば、そこは決して反対するものではありませんので、そういう意見はつけまして、賛成の討論とさせていただきます。

○議長（賀屋幸治） 他に討論はありませんか。

5番、小中議員。

○5番（小中真樹雄） 5番、小中です。手短に申し上げまして、今回の補正予算案は、現状のニーズ及びプライオリティーを十分に踏まえた内容だと、私は理解しておまして、そういう点で賛成いたしたいと思います。

○議長（賀屋幸治） 他に討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 討論なしと認めます。

これをもって、討論を終結いたします。

ただいま議題となっております本件を、起立により採決をいたします。

本件に対する委員長の報告は、原案可決であります。

本件について委員長の報告のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（賀屋幸治） 起立多数と認めます。

よって本件は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。

本日、議決されました各案件につきまして、その条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 御異議なしと認めます。

よって、条項、字句、数字、その他の整理は、議長に委任することに決定いたしました。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

臨時会閉会に当たり、市長から挨拶があります。

市長。

〔市長 入山欣郎 登壇〕

○市長（入山欣郎） 大竹市議会臨時会の閉会に当たりまして、御挨拶を申し上げます。

このたびの臨時会では、議員の皆様におかれましては、御提案申し上げました案件を終始熱心に御審議をいただき、原案のとおり議決を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。

開会の挨拶でも申し上げましたが、大竹のまちがよりよいまちとなるよう、議員の皆様とはこれから4年間、大竹市発展のために議論を重ね、信頼を築きながら一步一步進んでまいりたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

季節は例年より早く、暑い夏の様相となっておりますが、議員の皆様方におかれましてはどうか健康には十二分に留意されまして、ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

以上、閉会に当たりましての挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（賀屋幸治） これにて本日の会議を閉じ、第4回大竹市議会臨時会を閉会いたします。

13時53分 閉会

上記、会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年7月14日

大竹市議会議長 賀 屋 幸 治

大竹市議会議員 児 玉 朋 也

大竹市議会議員 山 崎 年 一